

非束縛少数多体系の物理

東大 CNS 下浦享

ドリップラインを超えた原子核や高励起領域では、非束縛粒子の連続状態の中に特定の量子数をもつ共鳴状態や強い相関があらわれる。これらを研究するための直接反応を用いた実験のいくつかを紹介するとともに、解析の手法や結果の解釈について紹介する。さらに、2個以上の非束縛粒子を持つ系での課題や新たな視点を議論したい。